

第89回 アジアセミナー

戦後「保守」思想の誕生 — 江藤淳のアメリカ体験を中心に —

ウメモリ ナオユキ

梅森 直之 氏

講演者

早稲田大学政治経済学術院教授

● 概要 ●

戦後日本の「保守」思想家が直面した最大の思想的課題は、一方で日米の事実上の軍事同盟を受け入れつつ、他方でそのアメリカに敗れた日本の歴史をいかに救済しうるかという問いであった。本報告では、そうした思想的課題の「解決」に、重要な貢献をなした人物として江藤淳を取り上げ、その思想的転機となった1962年から2年間に及ぶかれのアメリカ滞在の意義を考える。江藤のアメリカ経験を、冷戦期における日本史とアメリカ史の交錯点に位置づけ直すことで、今日に続く戦後「保守」思想の誕生を批判的に検討することを試みたい。

2014年 6月27日 金 16:30~18:00

早稲田大学26号館(大隈タワー)地下1階 多目的講義室

- 言語 : 日本語
- 対象 : 学生・教職員・一般
- 申し込み等 : 入場無料 当日直接会場へお越し下さい



■ お問い合わせ 早稲田大学アジア研究機構事務所
TEL : 03-3202-2537 (内線 79-2261) E-MAIL : asianstudies@list.waseda.jp
URL : <http://www.kikou.waseda.ac.jp/asia/>
 <http://www.facebook.com/asianstudies.waseda>

主催 : 早稲田大学アジア研究機構